



(円内ゲーリー・リネカー選手)

Jリーグ合宿地として定着

名古屋グランパスエイトがキャンプ

サッカー、Jリーグ合宿村として、全国に名声が行届いている今帰仁村。

昨年は、全日本をはじめ、横浜フリューゲルス、清水エスパルスなどがキャンプを行い連日村内外より多勢の見物客でにぎわいをみせていた。今年も、Jリーグの人気チーム、名古屋グランパス（ゴードン・ミルン監督、リネカー選手以下三十二人）が来村、二月七日より村運動公園において合宿を始め、ミニゲームやパスワークなどの基礎的練習をくり返しながら三月に開幕するシーズンに向けて勢力的にキャンプをこなしていた。上間村長は、グランパスのキャンプインにあたり「環境が整っている今帰仁合宿の成果が優勝に結びつけられますように」と期待している。村では、来る三月十九日、二十日に高校生を対象とした村長杯争奪サッカー大会を開催する。

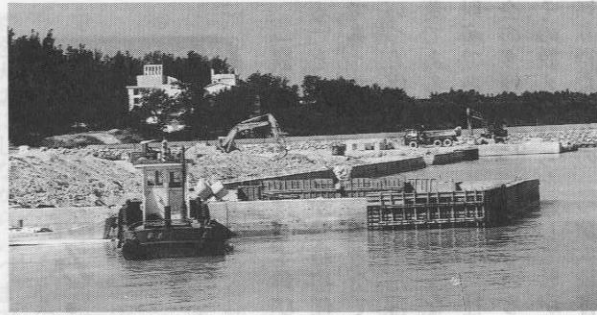
今帰仁村の人口

平成6年1月31日現在

男 4,805(+5)
女 4,829(+4)

世帯数 3,108(+2)

村の人口 9,634(+9)



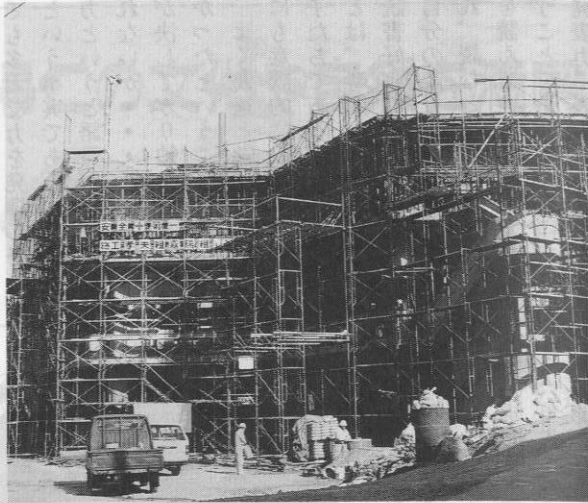
運天漁港改修工事



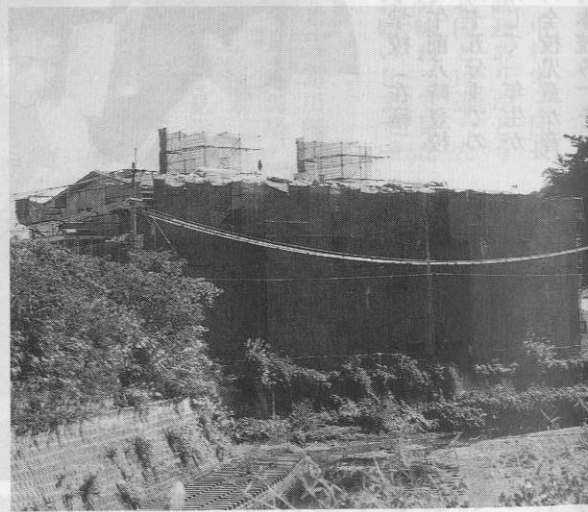
謝名地区土地改良区画整理工事



仲宗根運天線改良工事



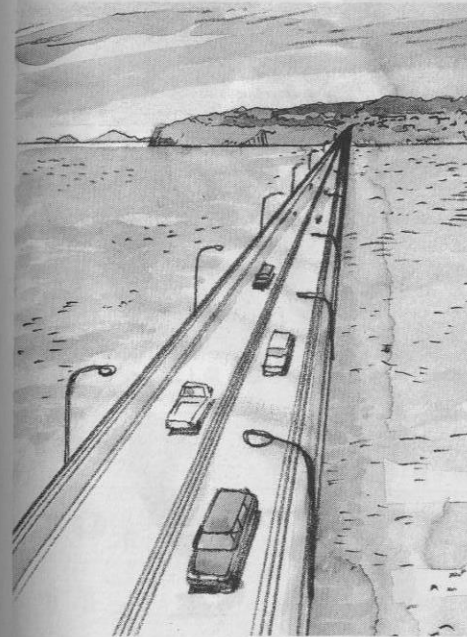
今帰仁村歴史文化センター建築工事



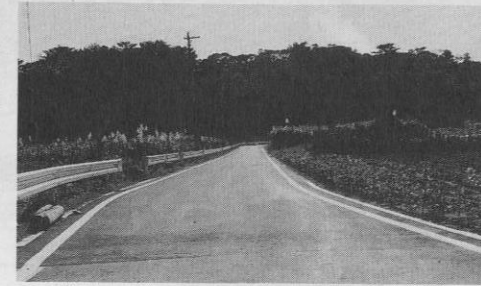
村営住宅山岳団地新築建築工事

“自然と歴史とロマンに満ち躍動する村”

3大プロジェクト事業など着々と進む



古宇利大橋完成予想図



吉事農道改修工事



諸志、与那嶺農村公園工事

村では、「自然と歴史とロマンに満ち躍動する村」をめざし、今年度は、歴史文化センター、古宇利架橋、運天港整備の三大プロジェクト事業をはじめ、村営住宅新築工事、運天港漁港改修工事、簡易水道施設工事、湧川集落道工事など、産業・教育文化・社会福祉・生活基盤の整備の各事業が着々と進められております。

そこで、平成五年度に実施されている各事業の発注状況と事業の一部を写真で紹介致します。

平成五年度 公共事業発注状況 (二月初旬現在)

- ① 仲宗根運天線舗装新設工事 (一工区)
 - (有) 山川建設
- ② 渡喜仁天底線舗装新設工事 (有) 星土建工業
- ③ 諸志、与那嶺農村公園工事 (有) 北山建設
- ④ 渡喜仁仲宗根線道路改良工事 (有) 孝夫組
- ⑤ 玉城天底線特改一種工事 (有) 新城組
- ⑥ 仲宗根運天線道路改良工事 (一工区)
 - (有) 星土建工業
- ⑦ 吉事農道改良工事 (有) 国吉組
- ⑧ 湧川、呉我山農村公園工事 (有) 嘉陽組
- ⑨ 謝名地区土地改良事業区画整備工事 (有) 孝夫組
- ⑩ 兼次中学校コンピューター教室改造工事 (有) 陽電
- ⑪ 天底地区簡易水道施設工事 (二工区)
 - (有) 山川建設
 - (有) 仲宗根渡喜仁線道路改良工事
 - (有) 旭土建
- ⑫ 村営住宅山岳団地道路整備工事 (有) タマキ産業
- ⑬ 今帰仁村歴史文化センター建築工事 (有) 孝夫組
- ⑭ 今帰仁村歴史文化センター電気設備工事 (有) 上宏工業
- ⑮ 天底地区簡易水道施設工事 (一工区)
 - (有) 源建設
 - (有) 武国建設
- ⑯ 今帰仁村歴史文化センター浄化槽設備工事 (有) 陽電
- ⑰ 今帰仁村歴史文化センター給排水設備工事 (有) 池田電気
- ⑱ 今帰仁村歴史文化センター空調設備工事 (有) 上宏工業
- ⑳ 仲宗根運天線道路改良工事 (二工区)
 - (有) 源建設

- ㉑ 村営住宅山岳団地新築建築工事 (有) 孝夫組
- ㉒ 富原林道舗装工事 (有) 内間建設
- ㉓ 村営住宅山岳団地電気設備工事 (有) 陽電
- ㉔ 村営住宅山岳団地機械設備工事 (有) 池田電気
- ㉕ 村営住宅山岳団地屋外附帯設備工事 (有) 金良建設
- ㉖ 古宇利漁港波除堤工事 (有) 丸島建設
- ㉗ 与那嶺農道工事 (有) 嘉陽組
- ㉘ 仲宗根運天線災害復旧工事 (有) タマキ産業
- ㉙ 天底水路災害復旧工事 (有) 平山工務店
- ㉚ 崎山集落道路工事 (有) 国吉組
- ㉛ 今泊集落道路工事 (有) 内間建設
- ㉜ 湧川集落道路工事 (有) 上宏工業
- ㉝ 仲宗根集落排水工事 (有) 池田電気
- ㉞ 兼次線道路改良工事 (I工区)
 - (有) 山川建設
 - (有) 仲宗根渡喜仁線道路改良工事
 - (有) 旭土建
 - (有) 仲宗根渡喜仁線道路改良工事
 - (有) タマキ産業
 - (有) 天底小学校擁壁工事
 - (有) 謝名、崎山農村公園工事
 - (有) 星土建工業
 - (有) 呉我山水路災害復旧工事
 - (有) 仲原建設
 - (有) 上運天農道災害復旧工事
 - (有) 旭土建
 - (有) 兼次線道路改良工事 (II工区)
 - (有) 金良建設
 - (有) 地域交流プラザ改修工事
 - (有) 新城組
 - (有) 今帰仁城跡志慶真門郭石積工事
 - (有) 平山工務店
 - (有) 古宇利大橋調査測量設計委託業務
 - (有) 義務教育教材備品購入
 - (有) 教育用コンピューター購入
 - (有) 中山間農道整備調査測量設計業務
 - (有) 農地集団化事業今泊東地区地形図作成業務
 - (有) その他、委託業務契約及び物品購入契約(二十七件)

学対シリーズ

「朝読み・夕読み」実践の効果に期待(その一)

「読めること」が学習の土台になる力

「読書好きな子は必ず伸びる」と、かつて私が学級担任であった頃、学級保護者会でいつも保護者に語っていた言葉である。また、私の大きな財産である教え子が、今、社会の多様な場で活躍している。その教え子たちを通して私が知り得たことの一つが「読書好きであった子は確実に社会でも多大な力を発揮しているという事実である。(多大な力というと語弊があるかもしれないが・・・)その子たちが決してガリ勉で学習量が多かったということではない。よく友達と遊び、スポーツにも意欲的に取り組んでいた子たちである。ただ言えることは、時間があれば本を読み読書好きであり、机の中には自分の読む本がいつも準備され、読むときには集中して本を読んでいる姿があったということであり、授業における発表力―表現力(語彙量の豊富さ、多様な考え方、まとめ

兼次小3年生の本読み授業



方)に優れていたということ。もう一つ加えると「本がすらすら読めて、読むスピードがあった」ということである。そのことが教科の学習を進めていく上で大きな力(土台)になっていた。

て実践している。毎朝のことだからその効果は大きく、全児童が「本がすらすら読める」「自信をもって本が読める」状況になっているというし、標準学力検査の結果も年々向上していると聞く。「本読みは、全ての学習の基礎基本となるものであり、読めるということが学習を進める上での大前提である」という考えにたつた教育実践である。文字を意味あるように有機的に配列したのが文章であるから、本を読むことによって、文章に表現してある内容や情景を頭の中に思いえがくことができる。その繰り返しによって豊かな想像力や思考を広げ、深める力が身に付くのである。また、本読みをすることに

大切な松を守るの

平成六年一月二十六日村コミユニティセンターにおいて県林務課長をはじめとす松くい虫防除に携わる関係者が出席するなか連絡会議を開催しました。会議は、松くい虫のことを広く村民に知ってもらい一人一人が自主的に防除

又、実際にモデル林に設定した松林(天底地内)に行き、松くい虫によって被害木を伐倒除去、くん蒸処理するという作業を現地視察しました。今回の松くい虫自主防除連絡会議を開催した事により、松くい虫に対する啓蒙がゆきとどき、村民一人一人が、少しでも感心をもっていただき総合的な被害対策を進める必要があります。



北部のある小学校(在籍二百一名)で今、午前八時登校を奨励し、八時十五分までの朝の時間を利用して一年生から六年生までの全校児童が音読による「朝の本読み」を一日の学校生活のスタートとし

た講演(講師、山内昌藤先生)も行なわれ、盛んにメモを取りながら熱心に学習していた。午後には、伊江島での三町村合同歓迎会にのぞみ、琉舞の観賞をするなど和気あいあいの中で式は進められた。「酒田村」の皆さん、大変おつかれ様でした。沖繩(今帰仁)の旅は、いかがだったでしょうか。

乙羽岳での記念植樹



ウツパマにおいて沖縄の踊りの教室

も交流を図っていきましよう」と述べた。これに対し、中村栄子団長は、「盛大なる歓迎ありがとうございました。北国とは違った異国情緒を十分味わって見たい、よろしく願います」とあいさつ。一行は、二十九日、湧川織物工房(芭蕉布)、仲原馬場、今帰仁城跡、スイカ団地、共栄社、パイン園などを見学。途中、村内を一望できる乙羽岳に登り「イッペー」の木を全員で記念植樹。二日目は、運天港、ウツパマビーチを訪れ真白い砂浜で貝ひろいを楽しむなど沖繩の自然を満喫していた。三日目は、商工会ホールにおいて「今帰仁の歴史」と題し

今帰仁の文化や自然を満喫

リゾート大学沖繩「酒田村」

第17回

「雪深い東北の地」山形県酒田市から「リゾート大学沖繩酒田村」へ中村栄子団長、三十五名の皆さんが訪れ、一月二十八日から三十一日の四日間村に滞在し文化や自然に触れ今帰仁村との交流を深めた。

二十八日午後、歓迎式の中で上間博安村長は「ようこそ今帰仁村へ、これからも心の絆を大切にしながらいつまで



満開の桜をバックに記念撮影

「生涯学習で、一人一人の生きる喜びとうまなちゆめなみぬ村づくりを」をテーマに、第九回村生涯学習振興大会(主催村教育委員会)が、一月二十二日、午後二時より村コミュニティセンターで開催され、村民二百名余が参加した。



体験発表に聞き入る出席者の皆さん

「いつでも・どこでも・だれでも」学習出来る社会を!

生涯学習大会を開催

主催者代表として、西島一将教育長は、「いつでも、どこでも、だれでも、学習出来る生涯学習社会の実現に努めよう」とあいさつ。この後、平成五年度に実施した実践活動の発表が行われ「公民館講座」に参加した伊波晶子さん、「少年の主眼大会」で発表した前田文枝さん「ムラ・シマ講座」で村の歴史を学んだ田港恵理子さん、謝花伊久磨君、「ふれあい少年の翼」に参加した上間美穂さんが、それぞれの立場から体

験発表を行った。小学生を対象とした、「ムラ・シマ講座」に参加した謝花伊久磨君は、「湧川の塩田跡において、塩作りの話を聞いた。今泊のコパティシが三百年前から、生きていた事を知るなど、ムラ・シマ探検で発見がいっぱいあり、楽しかった事」を発表した。同時に、各種事業のパネル展示や舞台発表も行われ、訪れた村民は、互いに、心のふれあいを深めながら、各種発表に見入っていた。

青少年の 主張大会



優秀賞

老人問題について

北山高校 前田 文枝

「人生が楽しいかどうかは老後の生活によって決まる。」私は、ある本でこの言葉を目にしました。

それだけ老後の生活が大切だと、この言葉は教えているのではないのでしょうか。私にもこれまで共に過ごしてきた祖母がいます。生まれた時から、祖母を含め大家族の中で、育ってきました。その祖母に対し、いつもあたたかい態度で接していると、は言えませんでした。

しかし、このような態度をとるのは間違っている。これまで祖母が私に接してきたように、これからは、もっと優しい気持ちで、私が祖母の力になっていきたいと思うようになってきたのです。私がそう思うようになったのも、中学の時、ボランティア活動の一貫として老人ホームを慰問した事からでした。その日、出発する前まで、私は、そこに行つて清掃をし、舞踊などをちよつと披露して

帰つて来ればいいんだと軽い気持ちでいました。

しかし、そこに着き、清掃をしていると、おじいさんやおばあさん達は、私達が来た事をとてもうれしそうに笑みを浮かべ話しかけてきたのです。そんなうれしそうな顔を見てみると、出発するまでの思いやりのかけらもなかった自分がとても恥かしく思え、それと同時に、ここで暮らしている人々のさみしさが感じられました。

そして舞台上に立ち舞踊を演じている時、真剣な眼差しでうれしそうに手をたたいているおじいさん、おばあさん達を見て、ここに来て良かった。少しでもお年寄りの方々と一緒に、楽しい時間を過ごせる事ができて本当に良かったと心の底から思いました。しかし、このような整った設備の中、日々を過ごすお年寄りの方々は、一見、楽しく幸せそうに見えますが、一方でどこかさみしい思いを持つ

ているのではないかと感ぜずにはおれませんでした。

初めて会った老人の方々は、かになのに、私達が慰問した時なつかしそうな顔でしきりに話しかけてきたからです。それはきつと私達が孫のように見えたからではないかと思えます。

つまり、愛情ある家族と離れ、会話が減っていく中、心の奥ではいつも家族を求めているのではないかと感じざるを得なかったのです。私は、この老人ホーム慰問のボランティア活動を通して、一層、深刻化していく老人問題を他人事ではなく、これから、お年寄りを支えていく、若者の一人として、真剣に考えるようになりました。そして、単に周りの生活環境を整えることだけが、老人問題の最終的な解決法ではないと痛感しました。

意識を持つていられるような状況を作る事が何より大切だと思えたのです。

だから私は、まず一番身近である祖母を助けていきたい、家族の一員として、祖母が楽しい日々を送れるような力になっていきたいと思うようになってきたのです。

年々老人の人口が占める割合が増えてきて、十年後の二、三十年には一人の老人を三人の若者が世話をしなければならなくなるそうです。そうなると私達の老人への援助が今以上に必要とされます。私たちは、このような問題に今日から目を向け、意識を高めていくべきではないでしょうか。

そして、お年寄りの方々に何かをしてあげる、という考えではなく、逆に多くの人生経験を積んだお年寄りの方々に何かを学び、吸収していくという意識をもつことが必要だと思います。そのためにも若者とお年寄りという世代を越えて、一緒に過ごす場や機会を多くつくっていくよう努力していかなくてはならないのではないのでしょうか。

○一月二十八日 建設省道路局市町村道室稲田課長補佐 架橋予定地を視察
○一月三十一日 屋我地側取付部ルート案について、名護市役所関係課へ説明会
○二月十六日 第2回「古宇利大橋(仮称)技術検討委員会」作業部会開催
○二月二十四日 第2回「古宇利大橋(仮称)技術検討委員会」開催(那覇市内)

人間と人間のつながりの中、ふれ合っていきたいと思うのです。

これからの高齢化社会、私はたくさんのお年寄りが幸せな日々を送れるような社会にしていきたいと思っています。そして、それを創り上げる事ができるのは、私たち若者の老人に対する思いやりだと思います。

これまでこんなに素晴らしい社会を築いてきて下さった事に感謝をし、これからは、私達がお年寄りの方々のためにそして私達自身のために幸せな日々を送れる社会を創り上げていきたいと思います。



左より嘉陽宗哲さん夫妻、金城寛一さん夫妻

勲五等双光旭日賞 嘉陽宗哲氏 勲五等瑞宝賞 金城寛一氏 受賞祝賀会

平成五年の叙勲で、勲五等双光旭日章を授与された 嘉陽宗哲氏(湧川六〇三、七十五歳)と勲五等瑞宝章に輝いた 金城寛一氏(仲宗根四〇二、七十六歳)の受賞祝賀会(主催今帰仁村)が、一月十九日、午後六時から、村コミュニティセンターで催され、

会場には、仲宗根・湧川両区民をはじめ、関係者およそ二百五十名余が、出席してにぎわいを見せた。祝賀会で、大城勝助役による両氏の経歴紹介の後、主催者を代表して上間博安村長は、「これまで両氏が、尽くしてこられたご功績に報いるためにも、尚、一層の努力を傾注してまいります。これからも村発展の為に、御指導をお願いいたします。」とあいさつ。これにこたえて、嘉陽・金城両氏は、「私達の為に、盛大に祝っていただきありがとうございます。この榮譽にはじかないよう、地域社会の為に、貢献していきたい。」とお礼を述べると、会場の皆さんから大きな拍手がおくられた。また、両氏の受賞を祝い舞台では、両区民や親せきによる舞踊などの、余興が披露され、終始和やかな雰囲気を受賞を祝った。

村商工会

運天港周辺総合開発に伴う諸問題——をテーマに

懇談会

運天港フェリーパース、古宇利架橋、屋我地架橋など、国・県が総額約百三十億円を投入。本島北部の物流拠点として整備される事が新聞に掲載され、地元建設業などを含め商工業者が大きな期待を寄せている。

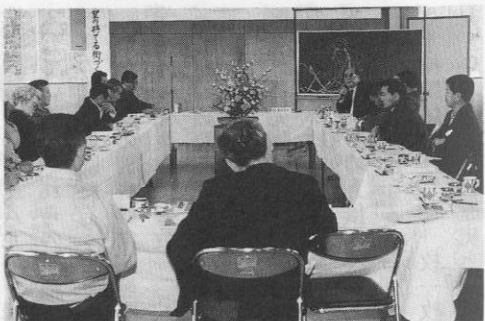
この投資を機会に地元活性化を願う商工業側と行政側が参加した懇談会(商工会主催)が、一月二十七日商工会館で行われ、関係者多数が出席した。

懇談会は、仲原商工会長の趣旨説明のあと、古宇利架橋の建設が本決まりとなり現在のルート(案)、基礎調査及び技術検討委員会などが進められている。

今帰仁村側としては、古宇利架橋建設完成を前に、屋我地架橋建設を早期に推し進め、橋が完成することにより道路体系の変化が生じる事が予想される。これによって、地元今帰仁村内の商店街が、活性化する事が期待され屋我地居住民が名護市内へ行くよりは、

近くて便利な村内での買い物ができることなどから、屋我地架橋の早期促進を積極的に、進めることが必要であると、結論付けた。

活発な意見がかわされた懇談会



おトクな前納は いかがですか?

(平成6年4月から来年3月までの1年間の場合)

国年	民金	前納	通常納付	割引額
定保	額料	円	円	円
付保	加料	129,990	133,200	3,210
付保	加料	4,680	4,800	120

■保険料を4月に一年分まとめて前納しますと、割引になります。毎月の保険料を納めることがめんどろだと言われる方、あるいは収入がある時期にまとめてある方などにお勧めします。

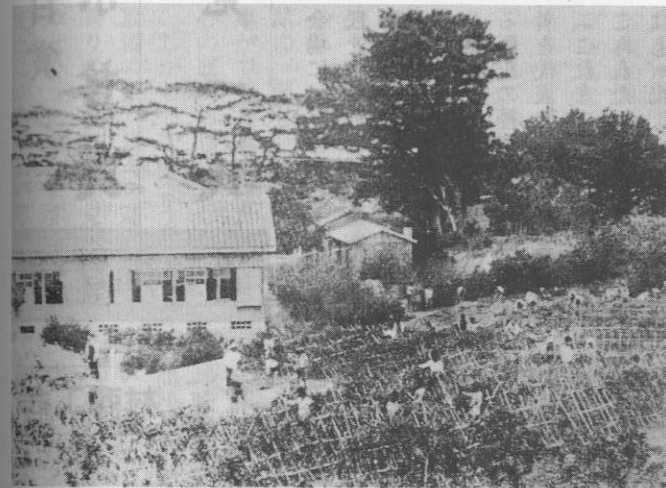
くわしくは、村役場の国民年金係へご相談下さい。

☎56-2101

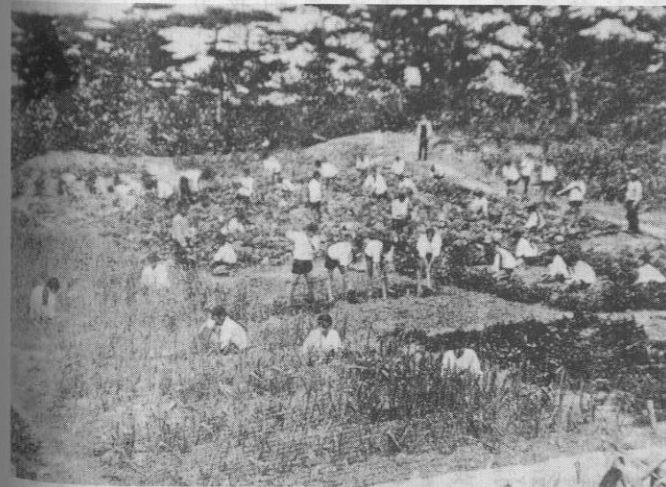
天底尋常高等小学校の実習農園(昭和九年)

天底小学校が今帰仁小学校から分離して独立したのは、明治二一(一八八八)年である。その年は、謝名にあった今帰仁小学校が兼次に移転した年でもある。当時の天底小学校の校区は、謝名から東側の字であった。明治三二年に今帰仁小学校は兼次から現在地に移転し、新しく兼次尋常小学校が創設された。その時に学区の再編がなされ、天底校区であった謝名・仲宗根・玉城・寒水・岸本の五ヶ村が今帰仁小学校の校区となった。天底の校区は、天底・勢理客・上運天・運天・湧川・呉我山の六ヶ村となった。戦後になって、湧川が独立校として分離したので湧川を除く字(アザ)となった。

天底小学校は、昭和六三年に百周年を迎え「記念誌」を発行している。「記念誌」には数多くの写真が収録され、「百年の歴史」を写真の「コマ」コマから見ることが出来る。その中から二枚の写



▲トマトが植えられた実習農園(昭和9年) (『記念誌』より)



▲畑で農業実習している生徒たち(昭和9年) (『記念誌』より)

真を紹介することにする。二枚の写真は、天底尋常高等小学校「創立五十周年記念誌」(昭和十三年)に収録されているものである。一枚目は、学校に隣接した農園で農業実習をしている場面である。瓦屋根の校舎があり、その右手の小屋は肥舎や農具室や便所などである。学

校を囲むように松(蔡温松と云う)が並木をなしている。学校と隣接して農園があった。農園の支え棒は、トマトを栽培しているところであろうか。農園について「私(立津政向氏談)が高等科一年の時(昭和九年)津波古充徳先生が実習園にトマトをつくられ、それが見事に実ってい

た。そのトマトを高等二年生がもぎとって喰ってしまったからたまらない。何しろ校長は、厳格きわまる照屋忠英先生までまっかになっておこられた。ドロボウをつくるためにトマトをつくるのではないといわれ、実習園のトマトをぜんぶひきぬいて堆肥にしてしまった。しかし、私たちは、翌朝早く登校して、落ちていたトマトや積んであるトマトを腹一杯たべたことがある」(『創立百周年記念誌』所収)、「そのトマトは、神戸

長はかんかんにおこりそれ以来、トマトはつくらなくなつた」(津波古充徳氏談、同「記念誌」といふ。)

二枚目の写真も、同じく実習農園であるが、学校の裏門近くにあって畑と思われる。後方の松並木が印象的である。クワを手にはりて草取りをしている生徒の姿が見える。監督をしている先生の姿もある。手前の畑には、ネギが栽培されているようである。

学校は、昭和七年に実習地として八四七坪、翌八年に農業実習地として二八九坪を購入している。それらの土地が写真の実習農園だろう。

昭和九年の天底尋常高等小学校は、児童生徒の数一〇五三名、学級数二〇、教員数二〇名であった。当時の校長は照屋忠英先生であった。現在の児童数が約二〇〇名余りであるから、その五倍規模の生徒がいたことになる。

学校関係の写真を一枚一枚見ていると学校の歴史と同時に、そこで学んだ一人ひとりが存在していた証として歴史が描ければと思う。

仲原 弘 哲
(歴史文化センター準備室)

＝ 緑豊かな今帰仁路を走る ＝ 県高等学校新人駅伝大会

第一回

北山高 男子16位・女子12位に入る

第一回県高等学校新人駅伝大会が、一月三十一日、男子が村役場前をスタート・ゴール(五区間、三十六キロ、三十校)、女子は、本部町スタウト、村役場前ゴール(五区間、十二キロ、十八校)に、開催され緑豊かな、今帰仁村路を舞台に健脚を競った。

男子は、前評判通り、



男子(5区間・36キロ)のスタート

沖尚と沖工の一騎打ちとなったが、選手層の厚い沖尚が最終区で逆転、初優勝を飾った。一方、女子は、全国高校駅伝出場の豊見城南が全国大会二十位の実力を見せ独走でゴールインした。

なお、当日の沿道添には、数多くの村民が応援に掛けつけ、選手の皆さんが、全力を尽くして走る姿に惜しみない声援を送っていた。

今大会の開催にあたり、誘致に尽力下さった、上間良豊競技委員長(豊見城高校教諭)は、「村当局や本部署の協力により、大会が無事終了する事ができました。今後もこの

少年の健全育成と防犯思想の普及、高揚を図ろうと少年駅伝大会が、一月二十三日運天港をスタート、本部署前をゴールする十五区間(一一・五九キロメートル)で開催された。

十三回をむかえた同大会には、今帰仁村、本部町の各字より十九チーム(二八五名)が参加、日頃の練習成果を競った。今帰仁勢は、仲宗根チームが前半出遅れたが中盤はげしく追い上げ昨年にひき続



「後はたのむよー」1区から2区へ

少年の健全育成を図るの！ 新春少年駅伝大会・仲宗根三位

大会が盛り上がるよう、お礼添えをお願いします」とお礼を述べていた。

この大会が、第二回、第三

回と未長く続き、若人達の青春の一ページをかざる舞台となるよう期待したい。

き三位(一時間二十四分三十一秒)に入る健闘を見せた。

村勢の成績は、次のとおり。

- 四位―今泊〇七位―湧川
- 十一位―謝・越〇十五位
- ―玉・呉〇十八位―天底

壮年ソフトボール協会設立 武国建設より優勝旗の寄贈 仲宗根チームが 初代チャンピオンに

村壮年ソフトボール協会(仲里吉徳会長)を設立した事に期に、第一回壮年ソフトボール大会が、一月十六日運動公園サグラランドで開催され、日頃の運動不足解消を図って



今大会には、四十才以上のメンバーで構成された九チームの参加があり、珍プレーや好プレーが続出。観客より盛んな声援を受けた。

試合は、各チームとも実力の接近した内容で進行。

決勝戦は、仲宗根チームと玉城チームの対戦となったが総合力に勝る仲宗根チームが七対二で玉城チームを下し第一回大会の優勝を飾った。

個人賞は次のとおり(敬称略)

- 殊勲賞―平安常康
- 敢闘賞―平安常弘
- 打撃一位―平良勝
- 二位―伊野波盛明
- 三位―平良栄正

第一回大会優勝 仲宗根チーム

御協力下さい。4月より水道料金が改定になります。

今帰仁村水道事業料金表

種別	用途別	基本料金 (1ヶ月につき)		超過料金	
		水量	料金	1m ³ につき	
専用給水装置	一般用	8m ³	1,040円	9m ³ ~20m ³	152円
				21m ³ ~40m ³	176円
				41m ³ 以上	198円
	営業用	10m ³	1,400円	11m ³ ~30m ³	176円
				31m ³ ~50m ³	198円
				51m ³ 以上	220円
官公庁用		10m ³	1,450円	11m ³ ~30m ³	178円
				31m ³ ~50m ³	200円
				51m ³ 以上	220円
共用給水装置	臨時用	1m ³			410円
	家事共用	8m ³	1,300円	9m ³ ~20m ³	174円
				21m ³ ~40m ³	188円
				41m ³ 以上	202円
私設消火栓	演習用	1個	1回	3分ごとにつき	650円

附則
この条例は、公布の日から施行し、平成6年4月1日から適用する。

新料金と旧料金の比較

※一般家庭用、13mm口径のメーターで月25m³使用した家庭を想定した場合
改定料金 3,744円/現行料金 2,897円/差額 847円

村では去る十二月の、村定例議会において、水道料金の改定案を提案して、可決されました。

その費用は、平成四年度の決算によると、歳出決算額三億四千四百三拾五万零千六百六拾九円中三千六百拾五万二千二百四拾九円で、実に全体の、十・五%を占めており、その企業局の受水が大幅な改定をされ、その上、水質検査の、検査手数料が、改定されたことにより、対応されて行われ

でも、述べてまいりましたが、前回の、水道料金改定から、十年余が、経過しているといえ、村民生活に与える影響は、厳しいものと受けとめておりますが、水道事業が独立した会計として、原価に見合う、水道料金を、設定して健全な、運営を維持していく必要があり、誠にやむを得なく今回の改定になったもので村民の皆様の御協力をお願い致します。

平成5年度宝くじコミュニティ助成事業 湧川区に屋外ステージ完成



湧川区では、この程集落センター前広場に(財)自治総合センターの行う平成5年度宝くじコミュニティ事業の助成を受けて立派な屋外ステージが完成しました。

これまでの舞台は、木造で老朽化が著しく、また祭のたびに組立て解体作業で区民の大きな負担となっており、が、ステージの完成により「舞台作成の手間が省け、練習時間にゆとりができる」「すばらしい舞台ですばらしい演舞を披露する事が出来る」と区民一同待望の舞台完成を喜んでいる。

平成6年 国民健康保険の被保険者証の更新について

(更新日程)

場所：各字公民館

字名	月日	曜日	時間
今泊	3月7日	月	午前9時~午前11時30分
	16日	水	午後1時~午後3時30分
兼次	8日	火	午前9時~午前11時30分
諸志	8日	火	午後1時~午後3時30分
与那嶺	9日	水	午前9時~午前11時30分
仲尾次	9日	水	午後1時~午後3時30分
崎山	10日	木	午前9時~午前11時30分
平敷	10日	木	午後1時~午後3時30分
越地	11日	金	午前9時~午前11時30分
謝名	11日	金	午後1時~午後3時30分
仲宗根	14日	月	午後1時~午後3時30分
玉城	15日	火	午後1時~午後3時30分
呉我山	15日	火	午前9時~午前11時30分
湧川	7日	月	午後1時~午後3時30分
	16日	水	午前9時~午前11時30分
天底	17日	木	午後1時~午後3時30分
勢理客	17日	木	午前9時~午前11時30分
渡喜仁	14日	月	午前9時~午前11時30分
上運天	18日	金	午前9時~午前11時30分
運天	18日	金	午後1時~午後3時30分
古宇利	23日	水	午前10時~午後2時00分

納税であなただも一緒に村づくり
税金はくらしを支えるエネルギー
大城 美里

恩給欠格者・引揚者の皆様へ 請求はもうお済みですか

総理府の認可法人である平和祈念事業特別基金では、恩給欠格者(外地勤務の経験があり、加算を含めた在職三年以上の方)に、内閣総理大臣名の書状・銀杯などを贈呈しております。

請求先

平和祈念事業特別基金業務第一課
〒112-2
東京都文京区大塚五上二一三
☎〇三―三九四五一―四七〇四
なお、請求書類は、役場厚生課の窓口にも置いてあります。

育英資金をお貸しします

お申込みは3月1日より

今帰仁村育英会(上間博安会長)では次のとおり、高校生、専門学校生、大学生を対象に育英資金借入れ希望の方を募っています。

貸付金額

高校生…一万円以内
県内大学生・専門学校生…一万五千円以内
県外大学生…二万円以内

申請期間

三月一日~三月三十一日。
☆手続きの詳しい方法は学校教育課育英係までご連絡をお願いいたします。電話番号は五六―二六四五です。

主任児童委員を新垣 侃さん 与那嶺清子さんに委嘱・県知事より 湧川(東)地区民生・児童委員かわる 嘉陽宗三さんより神谷三郎さんへ



嘉陽宗三さん 神谷三郎さん 与那嶺清子さん 新垣 侃さん

今年からスタートする民生委員(主任児童委員)の委嘱式が、一月十三日県庁であり、新垣侃さんと与那嶺清子さんに厚生大臣・県知事から委嘱状が交付されました。

主任児童委員は、地域(各字)の民生・児童委員と一緒に児童を対象として行政や各団体との連絡調整役となり、児童の健全育成に努め明るい地域づくりを推進致します。また湧川(東)地区の民生児童委員も、二月一日付で嘉陽宗三さんから神谷三郎さんに変わりました。今後ともよろしくお願い致します。

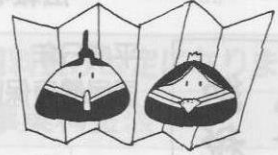
無料法律相談のお知らせ

玉城弁護士による法律相談を左記の日程で行います。
一、日時―平成六年三月十六日(水)
午前十時~午後四時
一、場所―コミュニティセンター(相談室)

3月/弥生

村民カレンダー

1994年



3/1 火	○北山高卒業式(北山高) ○春の全国火災予防運動~7日 ○村育英会貸付け開始~31日まで	17 木	○高校入試
2 水	○心配ごと相談所(コミセン)	18 金	○彼岸入り
3 木	○耳の日 ○ひな祭	19 土	○おもちゃ図書館
4 金		20 日	○兼次中・今帰仁中卒業式
5 土	○おもちゃ図書館(コミセン)	21 月	○春分の日
6 日	○今帰仁村ソフトテニス大会(運動公園)	22 火	○湧川小中・古宇利小中卒業式
7 月	○消防記念日	23 水	○世界気象デー ○心配ごと相談(コミセン)
8 火	○乳児健診(13:00~14:00コミセン)	24 木	○彼岸明け ○兼次小・今帰仁小・天底小卒業式 ○村内各小・中校終了式
9 水	○心配ごと相談所(コミセン)	25 金	
10 木	○子豚セリ(セリ市場)	26 土	○今帰仁村子ども祭り(午後2時コミセン) ○子豚セリ(セリ市場) ○村営各保育所卒園式(9:30~各保育所)
11 金		27 日	
12 土	○おもちゃ図書館(コミセン)	28 月	
13 日	○ホッケー大会	29 火	
14 月		30 水	○心配ごと相談所(コミセン) ○保育所新入児面接(13:00~16:00保護者同伴) ○母子手帳、印鑑持参
15 火	○離乳食実習(13:30~16:00中央公民館)	31 木	
16 水	○無料法律相談(玉城弁護士)(10:00~16:00コミセン) ○牛のセリ市(セリ市場) ○高校入試	4/1 金	○エイプリルフール

今帰仁村民憲章

- 一、みんなて守ろう 恵まれた自然と文化遺産を
- 一、みんなてつくろう うるおいとやすらぎのある村を
- 一、みんなて育てよう のびゆく力と豊かな心
- 一、みんなてめざそう 健康で希望に満ちた村を
- 一、みんなて築こう 平和で明るい活力のある村を

■名古屋グランパスが先月、初の今帰仁合宿を行った。特に注目を集めていたのが、あの世界のスーパースター、ゲリー・リネカー選手、足の故障で感心なプレーが見られなかったのは残念でしたが、子供達の掛声やサインに気軽に応ずるなど、グラウンド外でも世界一の笑顔を見せていた。■表紙の写真は、今帰仁カラの提供です。

編集後記 情報コーナー

